

2024 年度版 福岡県小児救急医療ガイドブック

必携！子ども救急

子どもの急病・傷害（事故）
対応マニュアル



子どもの急な病気やけがは、保護者にとって、とても不安なものです
子どもの症状の伝え方、病院受診や相談の方法をわかりやすく解説

家庭看護力 が身に付く **ガイドブック**

目次

1	はじめに	
(1)	何でも相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう	1
(2)	電話相談（#8000・#7119）の利用案内	2
(3)	休日夜間急患センター 及び 休日・夜間も 小児科医が診療を行っている医療機関	3
2	本冊子の活用方法について	5
	家庭看護力を身に付けよう	7
3	症状の伝え方	8
4	主な症状別の対処法	
	熱が高い・身体が冷たい	15
	鼻水・鼻づまり	17
	せき・ゼイゼイ・けんけん	19
	けいれん・意識がおかしい	21
	嘔吐	23
	下痢	25
	ほっしん・かゆみ	27
	元気がない・機嫌が悪い	29
	頭が痛い	31
	耳が痛い	33
	のどが痛い	35
	胸が痛い	37
	お腹が痛い	39
	手足を動かさない	41
	頭を打った	43
	胸やお腹を打った	45
	目・鼻・耳のけが	47
	口の中・歯のけが	49
	手足の腫れ・変形	51
	陰部のけが	53
	やけど	55
5	救命救急処置（蘇生ガイドライン準拠）	
(1)	心肺蘇生法	59
(2)	AEDの使い方	60
(3)	ものがのどに詰まった時の応急処置	61

(1) なんでも相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう

福岡県医師会常任理事 いなみつこどもクリニック 稲光 毅

皆さんには、お子さんの健康について気軽に相談できる人がいるでしょうか。特に1人目のお子さんの場合、授乳、睡眠、うんちの具合など日常的なことから、生後2か月から始まる予防接種など初めて経験することはばかりですが、身近に相談できる人がいない場合、お母さんが一人で抱え込むことになってしまいがちです。最近は、スマートフォンなどから情報を得ている方が増えています。しかし、インターネット上の情報は正しいものもありますがいい加減なものも少なくなく、また検索を進めるにつれて自分の思い込みに偏ってしまう傾向があり、適切な情報を得るのは簡単ではありません。そういう意味から、必要な時に適切な情報を得るために、早いうちにかかりつけ医をもつことが大切です。

今、生後2か月から生後5か月まで月1回の予防接種を受けるのが予防接種の標準的なスケジュールになっており、健康な赤ちゃんも月1回は小児科クリニックを受診します。予防接種は数が多く、接種間隔もワクチンごとに決まりがあり非常に複雑で、漏れなく確実に接種を進めるためにはかかりつけ医を決めておくことが勧められます。また、ワクチンを受けるだけでなく体重を計測してもらえば、母子手帳の成長曲線に書き込むことで順調に成長しているか確認することもできます。4か月、10か月、1歳半、3歳などの乳幼児健診は、かかりつけ医で受けるか保健センターなどで集団健診として受けるか地域によって受診方法が異なります。集団健診で発育の問題や病気の疑いなどを指摘され心配になった場合も、かかりつけ医があれば気軽に相談することができます。

急な発熱、嘔吐や下痢など病気の際にも小児科クリニックを受診します。診察の上、薬を処方されたり、点滴を受けたり、入院が必要であれば病院に紹介してもらうこともあります。医師の立場からすれば、かかりつけとして長く診ているお子さんは、それまでかかった病気やご家族の状況を把握した上での対応がしやすいという利点があります。

子どものかかりつけ医が大切なのは、発熱など病気になったときに診てもらうだけでなく、成長・発達をチェックし予防接種を進めるなど、順調な育ちを見守る役割があるからです。北九州市、福岡市では、出産前から出産後早めになんでも相談できる小児科医を知ってもらい安心して子育てをしてもらうことを目的として、出産する産婦人科で小児科を紹介する制度（ペリネイタルビジット）を行っています。このような制度がある地域にお住まいの方は制度を利用し、そうでない地域の方も予防接種などの機会を通してかかりつけ医を持ち、子育ての相談者として活用してください。

(2) 電話相談（#8000／#7119）の利用案内

福岡県小児救急医療電話相談（#8000）

平日夜間・休日に、子どもの急な病気、ケガに関する相談を経験豊かな看護師、または必要に応じて小児科医がアドバイスします。

電話番号：# を押して 8 0 0 0（短縮ダイヤル）

または 092-731-4119
（IP電話などの場合）

受付時間：（平日）19時～翌朝7時
（土曜）12時～翌朝7時
（日祝）7時～翌朝7時



福岡県救急電話相談・医療機関案内（#7119）

(1) 救急電話相談

急な病気やケガにより救急車を呼ぶか迷ったときや医療機関への受診を迷ったとき、救急医療機関での経験を有する看護師が、医療機関受診の緊急度などについてアドバイスを行います。

(2) 医療機関案内

現在診療中の最寄りの医療機関を案内します。

電話番号：# を押して 7 1 1 9（短縮ダイヤル）

または 092-471-0099
（IP電話などの場合）

受付時間：24時間365日



ふくおか医療情報ネット（web）

現在診療中、診療科目、最寄り駅など、様々な条件から、県内の医療機関を検索できます。

⇒ <https://www.fmc.fukuoka.med.or.jp/>



(3) 休日夜間急患センター及び

休日・夜間も小児科医が診療を行っている医療機関

I 北九州地域

休日夜間急患センター

施設名	住所	電話番号	平日		土曜		日曜・祝日	
			夜間		夜間		昼間	夜間
			準夜	深夜	準夜	深夜	準夜	深夜
★小児救急・小児総合医療センター (北九州市立八幡病院)	北九州市八幡東区尾倉2-6-2	093-662-6565	●	●	●	●	●	●
★北九州市立夜間・休日急患センター	北九州市小倉北区馬借1-7-1(総合保健福祉センター 1F)	093-522-9999	●		●		●	●
北九州市立門司休日急患診療所	北九州市門司区羽山1-1-24	093-381-9699					●	
北九州市立若松休日急患診療所	北九州市若松区藤ノ木2-1-29	093-771-9989					●	
★行橋京都休日・夜間急患センター	行橋市東大橋2-9-1	0930-26-1399	●		●	●	●	●
豊築休日急患センター	豊前市大字八屋1776-4	0979-82-8820					●	●
遠賀中間休日急病センター	遠賀郡遠賀町大字尾崎1725-2	093-282-9919					●	

医療機関

医療機関名	住所	電話番号	備考
★北九州総合病院	北九州市小倉北区東城野町1-1	093-921-0560	(受付時間) 月～金 17:00～翌7:00 土 13:00～翌7:00 日・祝日 9:00～翌7:00 ※重症例等は24時間対応
★国立病院機構小倉医療センター	北九州市小倉南区春ヶ丘10-1	093-921-8881	24時間対応(要電話連絡)
★地域医療機能推進機構九州病院	北九州市八幡西区岸の浦1-8-1	093-641-5111	24時間対応(要電話連絡)

※ゴールデンウィーク、お盆、年末年始の体制については、テレフォンセンター(093-522-9999)にご確認ください。

II 福岡地域

休日夜間急患センター

施設名	住所	電話番号	平日		土曜		日曜・祝日	
			夜間		夜間		昼間	夜間
			準夜	深夜	準夜	深夜	準夜	深夜
★福岡市立急患診療センター	福岡市早良区百道浜1-6-9	092-847-1099	●	●	●	●	●	●
福岡市立東急患診療所	福岡市東区箱崎2-54-27	092-651-3835					●	
福岡市立南急患診療所	福岡市南区塩原3-25-3	092-541-3299					●	
★宗像地区急患センター	宗像市田熊5-5-5	0940-36-1199	●	●	●	●	●	●
★糸島市休日・夜間急患センター	糸島市浦志532-1	092-329-1190	●	●	●	●	●	●
粕屋北部休日診療所	古賀市庄205	092-942-1511					▲	
粕屋中南部休日診療所	糟屋郡久山町大字久原3168-1	092-652-3119					●	
★朝倉地域休日夜間急患センター	朝倉市来春422-1	0946-23-0077	●		●		●	●

医療機関

医療機関名	住 所	電話番号	備 考
福岡赤十字病院	福岡市南区大楠3-1-1	0570-03-1211	(受付時間) 土 9:00~17:00 ※祝日、年末年始を除く
福岡大学筑紫病院	筑紫野市俗明院1-1-1	092-921-1011	(受付時間) 月・水・金 17:00~21:00
福岡徳洲会病院	春日市須玖北4-5	092-573-6622	(受付時間) 火・木・土 17:00~21:00 日・祝日 9:00~21:00

※福岡市では、夜間・休日の急病患者に対して、福岡市立急患診療センターで診療を行っています。
また、福岡市立こども病院、福岡大学病院、九州大学病院等は、福岡市立急患診療センター等で入院が必要と診断された場合や救急車での搬送に対応しています。

※宗像地区、粕屋北部地区では、平日の昼間はかかりつけの小児科、夜間と休日は宗像地区急患センターを受診してください。

III 筑後地域

医療機関

医療機関名	住 所	電話番号	備 考
★聖マリア病院	久留米市津福本町422	0942-35-3322	24時間対応 ※19:00~23:00は、久留米広域小児救急センター（地域医療支援棟1階）にて対応
公立八女総合病院	八女市高塚540-2	0943-23-4131	(受付時間) 月・水・金 19:00~21:30 第1・3・5日曜 9:00~14:30
筑後市立病院	筑後市大字和泉917-1	0942-53-7511	(受付時間) 火・木 19:00~21:30 第2・4日曜 9:00~14:30
★高木病院	大川市大字酒見141-11	0944-87-0001	(受付時間) 月~土 16:30~21:30 日・祝日 9:00~12:30 14:00~16:30

※久留米大学病院は、救急車での搬送に対応しています。

※大牟田・高田地域では、平日19:00~22:00、土曜14:00~22:00及び休日9:00~18:00は、当番の医療機関が診療を行います。当番診療を行っていない時間帯については、4つの医療機関で対応しています。詳細は大牟田市ホームページ (<https://www.city.omuta.lg.jp/>) にてご確認ください。

IV 筑豊地域

休日夜間急患センター

施設名	住 所	電話番号	平日	土曜	日曜・祝日
			夜間	夜間	昼間
直方・鞍手広域市町村圏事務組合 休日等急患センター	直方市大字山部 808-14	0949-28-2840		●	○ ●
★飯塚急患センター※	飯塚市吉原町1-1	0948-24-3399	●	●	● ●
田川地区急患センター	田川市大字伊田 2735-11	0947-45-7199		●	● ●

※飯塚急患センターは、2024年4月に小児科を休診し、飯塚市立病院が小児科時間外診療を行う予定です。

医療機関

医療機関名	住 所	電話番号	備 考
★飯塚病院	飯塚市芳雄町3-83	0948-22-3800	救急外来のみ24時間対応
田川市立病院	田川市大字鞆1700-2	0947-44-2100	(受付時間) 平日18:00~21:30

●:小児科有 ▲:小児科医一部対応 ○:第二・第四日曜 ★:毎日診療している医療機関

(注) 小児科医がない曜日、時間があります。受診される際には、事前に電話で確認してから、お出かけください。

※上記以外で診療を行っている医療機関もありますので、ふくおか医療情報ネット (<https://www.fmc.fukuoka.med.or.jp/>) または医療機関案内 (#7119または092-471-0099) にてご確認ください。

※200床以上の病院では、選定療養費が掛かる場合があります。

(選定療養費:紹介状なしに他の病院を受診する際に掛かる費用)

※掲載内容は2023年11月に確認したものです。最新の内容は各市町村や医療機関のホームページ等をご確認ください。

ほんさっし かつようほうほう 本冊子の活用方法について

さいしょ
最初に

たいせつ 3つの してん まな ひょうげん 視点を学び、表現できるようになりましょう。

- ① きげん いしき 機嫌や意識 (みため)
- ② こきゅう 呼吸 (いき) の様子
- ③ ひ ふ ようす 皮膚の様子

つぎ 7つの しょうじょう 症状 + 7つの いた 痛み + 7つの けが けが

ほん ガイドブックには、ぜん こうもく い か ないよう まさい 全21項目にそれぞれ以下の内容を記載しています。

7つの しょうじょう うつた 症状や訴え びょういん じゅしん だいひょうてき しょうじょう まな 病院に受診する代表的な症状を学びましょう

しょうじょう うつた
症状や訴え

<small>あつ たか からだ つめ</small> 熱が高い・身体が冷たい	<small>はなみず はな</small> 鼻水・鼻づまり
<small>けいれん いしき</small> けいれん・意識がおかしい	<small>せき ぜいぜい けんけん</small> せき・ゼイゼイ・けんけん
<small>おうと</small> 嘔吐	<small>げり</small> 下痢
<small>ほっしん かゆみ</small> ほっしん・かゆみ	

7つの いた ふ きげん 痛みや不機嫌 びょういん じゅしん だいひょうてき いた まな 病院に受診する代表的な痛みを学びましょう

いた ふ きげん
痛みや不機嫌

<small>げんき</small> 元気がない・ <small>きげん わる</small> 機嫌が悪い	<small>あたま いた</small> 頭が痛い
<small>みみ</small> 耳が痛い	<small>むね いた</small> 胸が痛い
<small>いぼ</small> のどが痛い	<small>なか いた</small> お腹が痛い
<small>てあし うご</small> 手足を動かさない	

7つのけがややけど 病院に受診する代表的なけがを学びましょう

けがややけど

あたま 頭を打った
め はな みみ 目・鼻・耳のけが
くち なか は 口の中・歯のけが

むね なか う 胸やお腹を打った
てあし は へんけい 手足の腫れ・変形
いんぶ 陰部のけが

やけど

気にかけて欲しいポイント

びょういんじゅしん さい い し かんごし し 病院受診の際に、医師や看護師が知りたいポイントです。

きさい 記載されたポイントに添って、伝えましょう。

きろく たいせつ しゃしん どうが きろく のこ 記録は大切です。メモや写真や動画で記録を残しておきましょう。

受診のタイミング

ただちに、救急車を要請

今日中に受診（6時間以内）

すぐに受診（3時間以内）

翌日に受診（12～24時間以内）

最後に

「専門医からのワンポイント・アドバイス」

しっかり読んで備えてください。

かてい かんごりよく み つ 家庭看護力を身に付けよう

こ どもの ^{きゅう} 急な ^{びょうき} 病やけがは、^{ほごしや} 保護者にとって、^{ふあん} とても不安なものです。

^{ふあん} 不安は、^{さまざま} 様々ですが……………

^{ようす} 様子を見ていても良いのか

^{びょういん} 病院を受診した方が ^{ほう} 良いのか

#8000 に ^{でんわ} 電話相談した ^{あと} 後でも、^{びょういん} 病院に ^{じゆしん} 受診した ^{あと} 後でも ^{つづ} 続くものです。

こ どもの ^{しょうじょう} 症状に ^{てきせつ} 適切に対応し、^{たいおう} 必要に応じて ^{ひつよう} 相談したり、^{おう} 正しく ^{そうだん} 伝えたり、^{ただ} 正しく ^{つた} 伝えたり、
り、^{びょういん} 病院に行くべきかを ^{いはん} 判断する

=この ^{はんだんのうりよく} 判断能力は かてい かんごりよく **家庭看護力** ^い と言われています。

^{ふだん} 普段から ^{せつ} 接している ^{ほごしや} 保護者だからこそ ^み 身に付けることができる ^{のうりよく} 能力です。

^{ふだん} 普段生活している ^{なか} 中で ^こ みて ^な いる ^こ 子どもに「^{ちが} いつもと ^{ようす} どこか ^み 違う ^み 様子がある」「^み パツと ^み 見た ^め 目の ^{ようす} 様子がおかしい」と ^{ふだん} いった、^{おほ} 普段より ^こ 多く ^{せつ} 子どもに ^{ひと} 接している ^き 人が ^き 気づく ^{こと} ことのできる ^{こうもく} 項目となります。

^{くたいてき} 具体的には……………

^{ぜんしんじょうたい} 全身状態

^{きげん} 機嫌や ^{いしき} 意識 (みため)

^{こきゅう} 呼吸 (いき) の ^{ようす} 様子

^{ひふ} 皮膚の ^{ようす} 様子

この ^{ぜんじゆつ} 前述の ^{じょうたい} 4つの ^{つた} 状態を ^{ほうほう} しっかり伝える ^{まな} 方法を ^{まな} 学びましょう。

3 症状の伝え方

しょうじょう へんか ほごしゃ ふあん つた くふう
症状の変化と保護者の不安を伝える工夫

- (1) 「全身状態」を具体的に伝えましょう
- (2) 「機嫌や意識（みため）」の伝え方
- (3) 「呼吸（いき）の様子」の伝え方
- (4) 「皮膚の様子」の伝え方



(1) ぜんしんじょうたい ぐたいてき つた
全身状態を具体的に伝えましょう

ぜんしんじょうたい もんしん
全身状態の問診

ぐたいてき いし かんごし もんしん
具体的な医師や看護師の問診

- ① きげん いしき ようす
機嫌や意識の様子

こうふん
興奮したりぼーっとしたりしていませんか

- ② こきゅう ようす
呼吸の様子

いき くるし
息は苦しそうでないですか

- ③ かお かおいろ
顔つきや顔色

かお かおいろ か
顔つきや顔色に変わりないですか

- ④ てあし うご
手足やからだの動き

げんき うご
元気にからだを動かしますか

- ⑤ すいみん ようす
睡眠の様子

すいみん じゅうぶん と
睡眠は充分に取れていますか

- ⑥ しょくよく は げ ようす
食欲や吐き気の様子

しょくじ りょう しょくよく ていど は げ
食事の量や食欲の程度、吐き気はありますか

- ⑦ おしっこ・うんちのようす
様子

にょう べん
尿や便はいつもどおりですか

(2) 「^{きげん いしき}機嫌や意識 (みため) 」の^{つた かな}伝え方き かけて ほ しい ポイント

① 「ぐったりしていないか？」

おこしてもずっと寝^ねていて起き^おしてくれない
ぜんぜん^{ぜんぜんうご}動かない

② 「おもちゃなどに^{きょうみ しめ}興味を示すか？^{あそ}遊ぶか？」

おと^{おと}音が鳴るものを見^みてくれない おもちゃで^{あそ}遊ばない

③ 「ぐずっていないか？」

あやしても泣^なきやんでくれない
ずっと^{こうふん}興奮して不^ふ機嫌

④ 「視線^{しせん}が^あ合うか？」

あやしたりしても視線^{しせん}が^あ合わずずっと^{うわ そら}上の空のまま

⑤ 「^{かいわ}会話が^なできるか？泣^なくか？」

こえ^{こえ}を出す^だことができない、泣^ないてくれない

ふだん 普段とどのように^{ちが}違うかという^{てん つた}点を伝えてください

(3) 「呼吸 (いき) の様子」の伝え方

き ほ
気にかけて欲しいポイント

- ① 「横になれるか？しゃべれるか？」
横よこになって休やすむことができない
横よこにすると余計よけいに息いきが苦しくるそう、会かい話わができない
- ② 「眠ねれるか？」
横よこになることができても、寝ねることができない
すぐおに起おきてしまう
- ③ 「肩かたで呼吸こきゅうしていないか？」
呼吸こきゅうの度たびに肩かたが上じょう下げに動うごいているのが分わかる
- ④ 「鼻はながヒクヒクしていないか？胸むねが凹へこまないか？」
呼吸こきゅうの度たびに小鼻こばな (鼻翼びよく) が大おおきくなる
息いきを吸すうたたびに、あばらら (肋骨ろっこつ) が浮うき出でたり、
首くびや鎖骨さこつの辺あたりが凹へこむ
- ⑤ 「ゼーゼー音おとがしないか？」
ゼーゼーあるいはピューピューといった音おとが聞きこえる

(4) 「皮膚の様子」の伝え方

き ほ
気にかけて欲しいポイント① 「かおいろ わる
顔色が悪くないか？」あおしろ あかみ
青白い、赤味がない② 「てあし つめ
手足が冷たくないか？」からだ あつ てあし つめ
身体は熱いのに手足が冷たい③ 「ひ ふ いろ
皮膚がまだら色になっていないか？」ひ ふ あみめじょう あか ところ しろ ところ
皮膚が網目状に赤い所と白い所（まだら）になる④ 「くちびる いろ わる
くちびるの色が悪くないか？」むらさき じょうたい
紫になっている状態（チアノーゼ）⑤ 「てあし からだ つめ あせ
手足や身体に冷たい汗をかいていないか？」ふつう あせ
普通に汗をかいているわけではなく、
てあし つめ うえ
手足が冷たい上にじっとりとしている** あぶら あせ ひ あせ
脂汗や冷や汗をかいている

おも しょうじょうべつ たいしよほう
4 主な**症状別**の対処法



ねつ たか からだ つめ 熱が高い・身体が冷たい

たいおん いじょう い か じょうたい
体温が 38℃以上または 35℃以下の状態

かんさつ 観察のポイント

- ねつ たか びょうき じゅうしやうど そうかん
・ 熱の高さと病気の重症度は関連しないこともあります
- ぐったりして元気がない、顔色が悪いなどの時は、全身状態
かんさつ
を観察しましょう (⇒ p.9 参照)
- はつねつ のう あた
・ 発熱だけで、脳にダメージを与えるわけではありません
- い か ていたいおん きんきゆうせい たか
・ 35℃以下は低体温で、むしろ緊急性が高いことがあります

ただちに、救急車を要請

- いしき
✓ 意識がなく、けいれんしているとき
ねつ たか きゅうきゆうはんそう はんだん ひつよう
熱の高さのみで救急搬送を判断する必要はありません

すぐに受診 (3時間以内)

- すいぶん と はん にち て
✓ 水分が摂れず、半日おしっこが出ない
- おうと げり く かま
✓ 嘔吐や下痢を繰り返している
- ぐったりしている、ぼーっとしていて反応が悪い
はんのう わる
- きげん わる
✓ 機嫌が悪くあやしても笑わない
わら
- せいご げつみ まん
✓ 生後3か月未満である



きょうじゅう じゅしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ よく眠る
- ✓ 41℃以上の発熱が続いている

よくじつ じゅしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 水分（ミルクや母乳）が摂れて、おしっこも出ている
- ✓ 機嫌が悪くなく、あやすと笑ったり遊んだりできる



せんもんい せんもんいからのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・ 体温はあくまでも目安であり、体温計の数字のみにこだわらないようにしてください
- ・ 3か月未満の発熱は、早めに受診しましょう
- ・ 高熱であっても元気な時は解熱剤を使用しなくていいです
- ・ 発熱時は体温を1日2～3回ほど測定しましょう
- ・ しっかりと水分を摂るようにしましょう
- ・ 発熱時は、環境（衣服・室温）で温度調整をしましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ 園や学校などでの感染症の流行状況
- ・ 経口摂取の状況（普段どおり食べたり飲んだりできるか）
- ・ 体温の推移（記録しておく伝えてやすいです）

はなみず はな 鼻水・鼻づまり

はなみず はな
鼻水、鼻づまりがあること

かんさつ 観察のポイント

- ・発熱^{はつねつ}など、他に^{ほか}症状^{しょうじょう}がないか
- ・苦し^{くる}そうな呼吸^{こきゅう}をしていないか
(⇒「せき・ゼイゼイ・けんけん」(p.19~p.20)参照^{さんしょう})
- ・哺乳^{ほにゅう}、食事^{しょくじ}、水分^{すいぶん}が摂^とれているか
- ・ぐったりしていないか

ただちに、救急車^{きゅうきゅうしゃ}を要請^{ようせい}

- ✓ 苦し^{くる}そうな呼吸^{こきゅう}をしている (話^{はな}せない、泣^なけない)
- ✓ 浅^{あさ}い弱^{よわ}々しい呼吸^{こきゅう}をしている
- ✓ その他、命^{いのち}の危^き険^{けん}を感じる^{かん}状態^{じょうたい}

すぐに受診^{じゅしん} (3時間^{じかん}以内^{いない})

- ✓ 生後^{せいご}3か月未^{げつみまん}満^{まん}で、38℃以上^{いじょう}の発熱^{はつねつ}がある
- ✓ ぐったりしている
- ✓ 息^{いき}を吸^すう度^{たび}に、のど、肋骨^{ろっこつ}の間^{あいだ}、みぞおち^{へこ}などが凹^{へこ}む

今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 耳を強く痛がる
- ✓ 耳の中から液体や膿が出てくる（耳垂れ）
- ✓ 熱があり、のどの痛み（咽頭痛）が2日以上続いている

翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 鼻水や鼻づまりで、なかなか寝付けない
- ✓ 鼻水や鼻づまりが2週間以上続いている
- ✓ 熱がなく、のどの痛みが2日以上続いている
- ✓ 熱がなく、耳を痛がる



専門医からのワンポイント・アドバイス

家庭でのケアのポイント

- ・鼻づまりで苦しそうなときは鼻を吸ってあげましょう
- ・蒸しタオルで鼻を拭くのも効果的です
- ・部屋の湿度は、50～60%を目安に調整しましょう

医師に伝えてほしいこと

- ・鼻水の状態（色やにおいなど）
- ・発熱の有無 ・呼吸の状態
- ・経口摂取の状況（普段どおり食べたり飲んだりできるか）

せき・ゼイゼイ・けんけん

きどう びょうき しょうじょう
気道の病気の症状

かんさつ 観察のポイント

- ・顔、くちびる、手足の皮膚の色（青白い、紫色）はどうか
- ・肩で息をしていないか（肩呼吸）
- ・肋骨の間、鎖骨の上、のどのがくぼまないか（陥没呼吸）
- ・反応が悪くないか、苦しくて興奮していないか

ただちに、きゅうきゅうしゃ ようせい 救急車を要請

- ✓ 顔色が青白く、くちびるが紫色である
- ✓ 意識がおかしい（反応が悪い、眠りがち、興奮している）
- ✓ 苦しくて横になれない、会話ができない
- ✓ 遊びや食事の途中で、突然咳き込み、苦しようになった
- ✓ 急に、じんま疹とともに咳き込み、呼吸が苦しようになった

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 呼吸回数が多い
- ✓ 肩で息をしている・肋骨の下、鎖骨の上、のどのがくぼむ
- ✓ 息を吸うときに鼻を広げたり、吐くときに唸ったりする
- ✓ 息を吸うときに、のどのあたりで音がする
- ✓ 犬が吠えるような“けんけん”とせきをする

きょうじゅう じゅしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ せきがとまらない、せきこんでおうと
- ✓ したく たいおう きゅうにゅう ないふくやく で、せき・ぜんめい（ゼイゼイ、ヒューヒュー）がかいぜんしない

よくじつ じゅしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ ぜんめい（ゼイゼイ、ヒューヒュー）はあるがくるしそうでなく、しょくじ ほにゅう すいみん 食事や哺乳ができ、睡眠もとれる
- ✓ したく たいおう きゅうにゅう ないふくやく で、しょうじょう かいぜん 自宅での対応（吸入や内服薬）で、症状が改善する



せんもんい せんもんいからのワンポイント・アドバイス

か 家で^{てい}のケアのポイント

- ・せきは、きどう くうき とおろ みち からたん いぶつ はいじょ 痰、異物を排除する
しぜん はんのう 一般的なので、いっぱんてき ほんにん 本人がくるしければ、
もんだい 問題ないことが多いです

い 医師^しに伝えてほしいこと

- ・かおいろ こきゅう じょうたい 顔色、呼吸の状態
- ・ねお 眠れているか ・ふだん 普段どおり た 食べたり の 飲んだり できるか
- ・からだ のむきによって、しょうじょう 症状がかいぜん 改善、または 悪化 悪つか しないか
- ・アレルギーを疑う 食べ物や薬などを摂取していないか
- ・ちよくぜん に、おもちゃや豆などを口に入れていなかったか

いしき けいれん・意識がおかしい

からだを振るわせ、呼びかけに反応しない

かんさつ 観察のポイント

- ・ 顔色、視線の向きはどうか
- ・ 手足の様子はどうか（ピン、がくがく、ダラーン）
- ・ おかしな動きは、身体の右側にも左側にもみられるか
- ・ 時計をみて、けいれんが続いている時間を確認しましょう
- ・ けいれんが落ち着いたら、体温を測定してください
- ・ けいれんが止まった後に、名前を呼んで反応するか

ただちに、救急車を要請

- ✓ 5分以上続くとき（初めての時はその限りではありません）
- ✓ 顔がまっ白だったり、くちびるが紫色だったりするとき
- ✓ けいれんの後も、呼びかけに反応が悪いとき
- ✓ 繰り返しおこしたとき

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 身体の片側だけが、けいれんしていたとき
- ✓ 最近、頭を激しく打ったことがあるとき
- ✓ 嘔吐を繰り返すとき
- ✓ 元気がなかったり、ぐったりしているとき
- ✓ 生後6か月未満



きょうじゅう じゅしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 今回のけいれんが、人生ではじめてで、けいれんが止まった後に意識が普段と変わらないとき

よくじつ じゅしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 今までに医師から「熱性けいれん」と言われ、けいれんも1回だけで5分以内に止まり、意識が普段と変わらないとき



せんもんい
専門医からのワンポイント・アドバイス

か
家庭でのケアのポイント

- ・あわてず、周りにある危険な物をよけましょう
- ・顔を横に向け、吐いたもので窒息しないよう注意しましょう
- ・口の中に指や割りばしなどを入れないようにしましょう
- ・揺すったり、たたいたりしないようにしましょう

い
医師に伝えてほしいこと

- ・今まで、けいれんを起こしたことがあるか
- ・家族にけいれんをしたことのある方がいるか
- ・発熱の有無
- ・けいれん中の様子

おうと 嘔吐

胃の中なかのものを口から吐くちきだしてしまはうこと

観察かんさつのポイント

- ・ 嘔吐おうとの回数かいすうはどうか、吐はいたものに血ちが混まじっていないか
- ・ 嘔吐おうとの量りょうや様子ようすはどうか（噴水状ふんすいじょうに嘔吐おうとしていないか）
- ・ 下痢げりや血便けつべん（血ちが混まじったうんち）、腹痛ふくつうがないか
- ・ 頭痛ずつうや発熱はつねつがないか、顔色かおいろが悪わるくないか

ただちに、救急車きゅうきゅうしやを要請ようせい

- ✓ 意識いしきがなく、ぐったりして反はん応のうが乏とぼしい
- ✓ けいれんしている
- ✓ 非常ひじょうに強つよい腹痛ふくつうや頭痛ずつうがある
- ✓ 大量たいりょうに血ちを吐はいた

すぐじゆしんに受診じかん（3時間以内）

- ✓ 短時間たんじかんに繰くり返かえし嘔吐おうとしている
- ✓ 元氣げんきがない・くちびるや口くちの中なかが渴かわいている・涙なみだがでない
- ✓ 半日はんじちじよう以上おしでっこがでていない
- ✓ お腹なかが硬かたく張はっている
- ✓ 吐はいたものに少すこし血ちが混まじる
- ✓ 頭あたまを打うった後あとに嘔吐おうとを繰くり返かえしている

きょうじゅう じゅしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 吐き気はおさまってきたが、飲み食いすると嘔吐する
- ✓ なんとなく機嫌が悪い、眠れない

よくじつ じゅしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 顔色がよく、元気があり、水分も摂れている



せんもんい せんもんいからのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・ 脱水症にならないように、こまめに水分を摂りましょう
- ・ 顔を横に向け、吐いたもので窒息しないよう注意しましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ 嘔吐の回数、嘔吐の様子、どのようなものを吐いたか
- ・ 下痢・血便・腹痛・頭痛・発熱などの症状がないか
- ・ 生ものを食べていないか、周囲に胃腸炎の流行がないか
- ・ 頭を強く打っていないか

げり 下痢

水分量の多い便が何度も繰り返し出ること

観察のポイント

- 回数や量がどれくらいか
- 下痢の色と性状
- 下痢のにおい（酸っぱいにおい、腐ったようなにおい）
- 他に症状がないか（発熱、腹痛、嘔吐、不機嫌、ぐったり）
- おしっこが減っていないか
- 体重が減っていないか

ただちに、救急車を要請

- ✓ 呼びかけても反応がとぼしい（反応がうすい）

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 強い腹痛がある
- ✓ お腹を触ると、張っていて硬い
- ✓ 何度も嘔吐を繰り返す
- ✓ 血便（血が混じったうんち）が続く
- ✓ くちびるや口の中が渇いている・泣いても涙が出ない
- ✓ 半日以上おしっこが出ていない
- ✓ 顔色が悪く、ぐったりしている

きょうじゅう じゆしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ はきけがあつてすいぶんのが飲めない
- ✓ すいようせい げりみず（水のような下痢）が1日6回以上出る

よくじつ じゆしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ ねつ ふくつうがなく、きげんもよくげんき
- ✓ すいぶん しょくじがいつもとかわらず摂れている



せんもんい 専門医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- しぼう おお しょくじ さとう いんりよう さ
脂肪の多い食事や砂糖入り飲料は避けましょう
- すいぶん
水分をこまめに摂るようにしましょう
- しゅうい かんせんよぼう おぶつ しより
周囲への感染予防のため、汚物の処理のあとは、しっかりと
てあら
手洗いをおこないましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- げり きかん かいすう りよう べん せいじよう いろ
下痢の期間、回数、量、便の性状や色・におい
- た しょうじょう はつねつ ふくつう おうと ふきげん
その他の症状（発熱、腹痛、嘔吐、不機嫌、ぐったり）
- すいぶん と
水分が摂れているか、おしっこがすく
すく
少なくないか
- なま た
生ものを食べていないか、周囲に胃腸炎の流行がないか

ほっしん・かゆみ

ほっしん ひぶ 皮膚のブツブツ・湿疹・じんま疹、しはん 紫斑、てんじょうしゅっけつ 点状出血・かゆみ

観察のポイント

- ・ブツブツの大きさ、場所、色、水ぶくれ、かゆみの程度
- ・どこから始まって、どこに広がっていったか
- ・発熱がないか、息苦しさ、ゼイゼイ、せきがないか
- ・口にした食べ物や薬、触った動物や植物など

ただちに、救急車を要請

- ✓ 息苦しそう（ゼイゼイ、せき、声のかすれ）
- ✓ 顔色が悪く、ぐったりしている
- ✓ 嘔吐を繰り返す・血便、下痢、お腹を痛がる

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 我慢できないかゆみ（眠れない、機嫌が悪い）
- ✓ 食べ物、薬を口にした後、ほっしんが出てどんどん広がる
- ✓ 目、顔、唇が腫れてきた
- ✓ 鼻血が出て止まりにくい、あざが増えた

きょうじゅう じゅしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ かゆみが続く
- ✓ 発熱がある
- ✓ 赤～紫色のブツブツが足などにたくさんある

よくじつ じゅしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ ほっしんだけで、元気があり、ぐったりしていない
- ✓ かゆみが少して、我慢できる
- ✓ 虫さされや、かぶれて、腫れが広がっていない
- ✓ 予防接種のところが腫れた



せんもんい 専門医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・ かゆみの範囲が小さければ、水やタオルで冷やしましょう
- ・ 温まると、かゆくなるので、お風呂にはつからず、軽くシャワーで流す程度にしましょう
- ・ アレルギーのある子は、対応をかかりつけ医に聞いておきましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ ほっしんを正確に伝えるのは難しいので、スマートフォンなどで写真を撮っておきましょう
- ・ ほっしんが出たときに食べた物や触ったもの

げんき きげん わる 元気がない・機嫌が悪い

げんきなく うごき が 少ない、きげん が 悪く 泣き止まない・興奮している

かんさつ 観察のポイント

- ・あやしたり、抱っこをしたり、興味を示すものを与えると機嫌がなおるか
- ・意識はどうか（普段どおり／受け答えがあいまい）
- ・顔色はどうか（普段どおり／赤い／青白い）
- ・泣き声はどうか（普段どおり／弱々しい／かん高い泣き声／「うー」とうめくように泣く）

ただちに、きゅうきゅうしゃ ようせい ただちに、救急車を要請

- ✓ 意識がおかしい（視線が合わない、つねっても反応しない、全く動かない）
- ✓ ぐったり（うとうと）していて、反応が悪い
- ✓ けいれんしている

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 普段と比べて元気がない・眠りがち
- ✓ 呼吸がきつそうで、顔色が普段と比べて悪い
- ✓ 生まれてから3か月までの赤ちゃんの38℃以上の発熱



今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 水分や食事が摂れず、おしっこの回数が減っている
- ✓ 嘔吐や下痢が止まらない
- ✓ 不機嫌が一時的（おもちゃや好きなもので気がまぎれる）

翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 顔色が悪くない
- ✓ 解熱鎮痛剤（解熱作用・鎮痛作用があるお薬）を使って不機嫌ではなくなった
- ✓ 食欲が十分ある、通常どおり眠れている



専門医からのワンポイント・アドバイス

家庭でのケアのポイント

- ・まずは、あやししたり、抱っこをしたり、興味を示すものを与えると不機嫌が改善するかを確認しましょう

医師に伝えてほしいこと

- ・熱はいつからあるか
- ・周囲に熱のある人はいるか
- ・熱以外の症状があるか